令和６年度用「新編 新しい国語」

指導事項との関連表（６年）

領域・事項	内容	学年・巻	６年																																								
		※指導事項及び言語活動例との関連は○印 （うち重点指導事項は◎印）	たずね合って考えよう	さなぎたちの教室	朗読で表現しよう	漢字を使おう１	社会教育施設へ行こう	意見を聞いて考えよう	三字以上の熟語の構成	イースター島にはなぜ森林がないのか	筆者の論の進め方をとらえよう	漢字を使おう２	原因と結果	いざというときのために	文と文とのつながり	漢文に親しもう	文字の移り変わり	風切るつばさ	人物どうしの関係について話し合おう	漢字を使おう３	つなぐ言葉の使い分け	インターネットでの議論から考えよう	インターネットの投稿を読み比べよう	六年生の本だな	いま始まる新しいいま	詩を読もう	心の動きを俳句で表そう	話し合って考えを深めよう	漢字を使おう４	場面に応じた言葉づかい	模型のまち	表現に着目して読み、考えたことを伝え合おう	漢字を使おう５	その修飾は、どこにかかるの？	プラスチックごみの問題について考えよう	「永遠のごみ」プラスチック	情報の信頼性と著作権	発信しよう、私たちのＳＤＧｓ	プレゼンテーションをしよう	漢字を使おう６	複合語	海のいのち	物語を読んで、人物の生き方について考えよう	漢字を使おう７	似た意味の言葉の使い分け	心に残った、この一文	漢字を使おう８	古典芸能への招待状	言葉の移り変わり	宇宙への思い	宇宙や地球の未来について話し合おう	漢字を使おう９	未来への情報活用	どう立ち向かう？　もしもの世界	表現をくふうする	伝えよう、感謝の気持ち	成長をふり返って未来へ進もう	君たちに伝えたいこと／春に
知識及び技能	⑴言葉の特徴や使い方に関する事項	ア　言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	○				○																			○																												
		イ　話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。																																		○																
		ウ　文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。															○																					○															
		エ　第５学年及び第６学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の目の学年にまでに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。			◎			○		◎						◎				◎				◎					◎			◎			◎			◎							◎						
		オ　思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。						◎			○								◎							○										○			◎				◎									○		
		カ　文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。													◎				○															◎																				
		キ　日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。																												◎																								
		ク　比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。		○																		○		○							○								○												◎			
		ケ　文章を音読したり朗読したりすること。		○														○						○																													○
	⑵情報の扱い方に関する事項	ア　原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。							○		◎	○																																						◎	○			
		イ　情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。																				○												○	中学年◎	○	○											○		◎	○			
	⑶我が国の言語文化に関する事項	ア　親しみやすい古文や漢文、近代以降の分語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。														◎																																					
		イ　古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。																																										◎									
		ウ　語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。															◎																												◎							
		エ　書写に関する次の事項を理解し使うこと。																																																				
		オ　日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。				◎																	◎																				○											
思考力、判断力、表現力等	A　話すこと・聞くこと ⑴指導事項	ア　目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。																																																	○		
		イ　話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。																																		○														◎		
		ウ　資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。																																		◎																
		エ　話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。					◎																																														
		オ　互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。	◎																								◎																											
	⑵言語活動例	ア　意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。																																		○																
		イ　インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。					○																																														
		ウ　それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。																									○																											
	B　書くこと ⑴指導事項	ア　目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。																						○												◎									○								○	
		イ　筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。								○	◎																																										
		ウ　目的や意図に応じて簡単に書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。									○																																						◎			
		エ　引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。														○																		○	○														○			
		オ　文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。			○					○			○						○	○				◎		○				○			○	○			○				○					○						○		
		カ　文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。																																										○				○				◎	
	⑵言語活動例	ア　事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。									○																									○														○			
		イ　短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。																						○																													
		ウ　事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。																																																			○	
	C　読むこと ⑴指導事項	ア　事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。							◎																																													
		イ　登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。		◎														◎																																				
		ウ　目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。							○													◎								◎																							
		エ　人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。																											◎																								
		オ　文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。																			○		◎																◎								○						
		カ　文書を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。																																○						○			◎				◎						◎
	⑵言語活動例	ア　説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。							○												○									○															○							
		イ　詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。		○														○						○													○															○
		ウ　学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。																																								○										